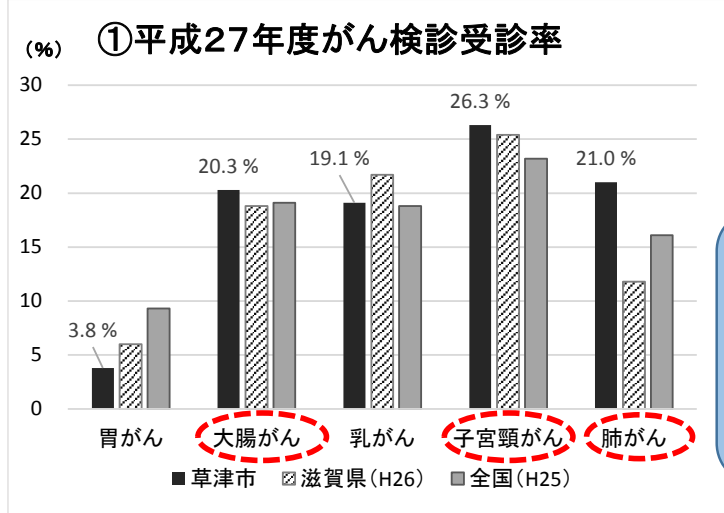
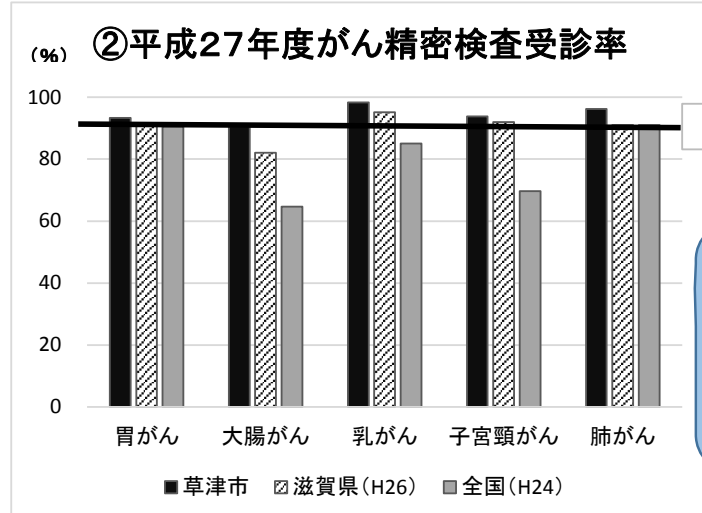


1)各種けん診について

資料1-1



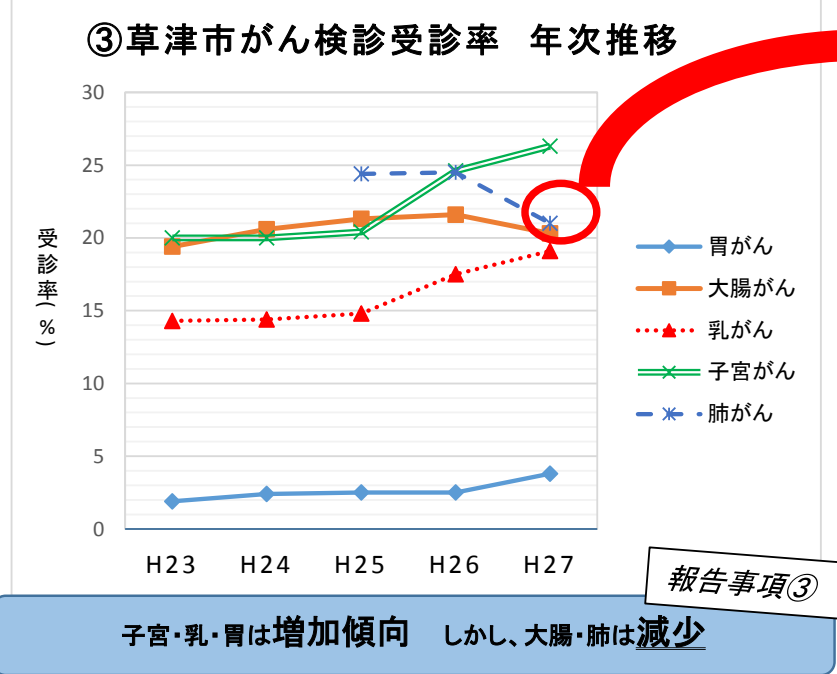
報告事項①
大腸がん、子宮頸がん、肺がんの検診受診率は国・県平均より高い



目標値90%

報告事項②
すべてのがん検診で90%を達成

詳細をみると...



報告事項③

子宮・乳・胃は増加傾向 しかし、大腸・肺は減少

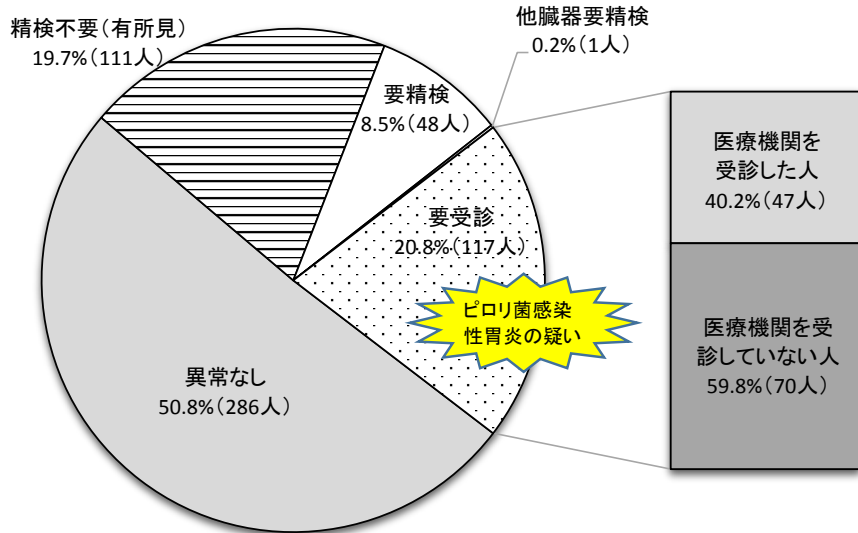


報告事項④

70~80代の高齢者の受診者が減少している
【原因】後期高齢者健診の対象外の増加による、周知の低下?

効果的な啓発が必要

⑥平成28年度胃がん検診結果(11月末までの受診者)



報告事項⑤

H28より、集団・個別検診ともに、診断所見に「ピロリ菌感染性胃炎の疑い」を追加し、該当者には「要受診」として直接ご本人へ結果返しを行い、除菌について医療機関で相談するよう受診勧奨を行っている。

【結果】

胃がん検診受診者のうち20.8%が「要受診」であり、そのうちの40.2%は医療機関受診につながった。医療機関を受診し、ピロリ菌感染性胃炎と診断された人のうち90.6%の人は、除菌治療を開始している。

⑦乳がん検診

◆H28.4 国・県の指針改定

◆県内他市へ聞き取り

H29～11/13の市が視触診を実施しない

◆草津市栗東市内の実施5医療機関へ聞き取り

草津栗東医師会 承諾

報告事項⑥

H29より、検診項目がマンモグラフィのみとなる。

自己触診が大切



乳がん触診シミュレータ



乳幼児健診でのがん啓発

報告事項⑦

乳がん触診シミュレータの貸出、乳がんの健康教育を実施しています。

ご希望の場合は、健康増進課までご相談ください。